

## 小学校部会

### 1 開催状況の概要

- (1) 日 時 令和3年11月8日(月)午前10時から午前11時30分まで
- (2) 方 法 Web会議システムによるリモート開催
- (3) 出席者 小学校部会員11名(欠席1名)

### 2 重点目標

タブレットを日常的に活用した学びの推進

### 3 重点目標達成に向けた現在の状況

#### (1) 基本的な操作等

##### (ア)アプリケーション操作

多くの学校でICTを活用した授業が日常的に実施されるようになり、各発達段階に応じた児童の操作技能が高まっている。今後も、授業支援アプリケーションソフトを活用し、課題を配布・回収したり、学習者用デジタル教科書を活用し、書き込みや音声や動画の再生・録音をさせたりするなどICTの特性を生かした授業を実践する。

##### (イ)カメラ機能活用

児童は、静止画や動画で観察・実験を記録するなど、各発達段階に応じてカメラ機能を活用することができている。今後は、ワークシートやスライド上にある静止画のサイズ変更やトリミング、動画の切り貼りなど、自分の思いが伝わるように編集加工できるように指導していく。

##### (ウ)文字入力

低学年児童は、パスワードを入力する際に、ローマ字入力することができている。

中・高学年児童は、キーボードを使って漢字を含む文字を入力することができている。

自分の考えや学習のまとめを入力する際、タイピング速度や正確性に差がある。

各教科学習においてタイピング入力する活動を増やすとともに、タイピング練習アプリケーションに取り組みさせることで技能を高めていく。低学年児童にはキーボードにシールを貼ったり、中学年児童には、ローマ字入力表を配ったりしてサポートする。

## (2) 問題解決・探究における情報活用

### (ア)分類整理・まとめる力

写真やファイルの保存，データの呼び出し方を理解している。

蓄積したデータを有効活用するための分類整理に課題がある。

過去のデータを素早く呼び出せるよう，日付や単元名など内容がすぐに分かるタイトルをつけるよう，低学年段階から指導する。

### (イ)プレゼンテーション力

自分の考えを相手に伝えるスキルに課題がある。

各教科学習において，表現活動や言語活動を充実させるとともに，静止画や動画，プログラミングアプリケーションなどを表現ツールとして，資料をもとに発表する活動を取り入れる。

### (ウ)情報収集力

調べ学習など，頻繁にインターネット検索を利用できているので，高学年になると課題解決に必要な情報を素早く検索，収集することができている。今後も，社会科の資料検索や総合的な学習の時間を中心にインターネット検索で目的に応じた情報を見つけられるよう指導する。

### (エ)コミュニケーション力

オンライン上でのコミュニケーション力に課題がある。

Web会議アプリを用いて，外部講師を招いたり，オンライン上で他校と協働学習を行ったりする活動を取り入れた授業を実施する。

## (3) 情報モラル・情報セキュリティ

### (ア)情報社会の倫理

約束やきまり，友達の気持ちを考えたやりとりを意識してコンピュータ等を使うことができている。

社会や様々な人々への影響を考えてコンピュータ等を使うという意識が希薄である。

これまでは高学年児童を対象とし，SNS等でトラブルが起こってからの指導が中心であったが，低学年から学級活動の時間や普段の授業の中で必要に応じて適宜，指導することで情報社会の「光と影」の知識を習得させる。

### (イ)情報に関する権利

人の考えや作品と同じように，自分や他者（身近な存在）の情報を大切にしようという態度が育っている。

インターネット上の情報にも権利があることに気付いていない。

著作権や肖像権などの知識を定着させるとともに，図書やインターネット上で検索した情報を資料として活用する際には，出典名を記載するなど利用上の決まりを守ることを徹底する。

#### (ウ)危険回避

低中学年児童は，使い方のルールを守ってコンピュータ等を使うことができている。

高学年になると，保護者の管理下から離れて活用する機会が増える。

危険だから使わせないのではなく，使っていく中で様々な危険性に気付かせる。さらに正しい使い方について考える場面を設け，自分で判断できるように指導する。

#### (エ)情報の取り扱い

自他の情報に関する取り扱いに注意することができている。

インターネット上の情報を簡単に信じてしまう児童が多い。

調べ学習をする際に，特定の情報からではなく，アナログを含めた情報を収集し比較することで，その正当性について吟味するよう指導する。

#### (オ)健康面への配慮

低中学年は，使用時間の決まりを守ってコンピュータ等を使うことができている。

高学年になるとゲームやインターネットを長時間利用する児童が増える。

保健便り等で定期的に，健康に関する注意やペアレントコントロールの必要性について啓発していく。

#### (カ)情報セキュリティ

低学年からパスワードや個人情報について指導するなどセキュリティに関する指導が行われている。

ダウンロードの危険性や，ウイルス感染の原因について基礎的知識を身に付けさせる必要がある。

徳島県情報モラル教育サポートサイトやNHK for School等の動画教材を活用して，発達段階に応じた指導を行う。また，巧妙になる手口に対して研修等で教職員の情報セキュリティ意識も高める。

### 4 端末の持ち帰り状況について

有事の際のみならず，日常的に持ち帰り，学習に活用するのがGIGAスクール構想の目的である。持ち帰りに関する課題の解決案や家庭での端末利用に関する先進的な取組を紹介していく。

#### (例)

- ・端末のデスクトップや指定のフォルダに宿題データを保存すればインターネットにつながらなくても課題に取り組める。登校してから学校のWi-Fiに接続して提出する。
- ・ドリル教材の活用だけでなく，デジタル日記や調べ学習など家庭学習の内容を工夫する。

## 5 重点目標達成に向けた今後の取組

小学校は、研究指定校の公開授業には、毎回多くの先生方に参観いただいている。また、ICT活用についての研修に熱心に取り組んでいる学校も多く「タブレットを日常的に活用した学び」の達成に近づいている。

ただし、児童のスキル差が広がりつつあることに注意する必要があるほか、情報モラルの着実な定着に向けて研究を進める必要がある。

今後は、先進的な取組事例を収集し、G I G Aスクールサポートサイトにおいて公開するとともに、小学校教育研究会とも連携しながら、各教科におけるICT活用法や指導法について研究を進めていく。

### (今後の予定)

- 1月
  - ・積極的な職員研修の推奨（校内研修事例の作成依頼）
  - ・県教委事業研究指定校やG I G Aスクール推進本部小学校部会委員所属校の授業動画のG I G Aスクールサポートサイトへの公開  
内容：各教科学習での活用，プログラミング，情報モラル教育
  - ・小学校教育研究会理事会にてG I G Aスクールサポートサイトの積極的活用について周知
  - ・G I G Aスクールサポート事業の実施による操作スキルと指導力の向上  
内容：MetaMoJiClassRoomの活用，各教科学習での活用等
  - ・徳島県P T A連合会家庭教育研修会にて保護者に徳島県G I G Aスクール構想の趣旨や概要を周知
  
- 2月
  - ・徳島県「教育の情報化」推進フォーラムでの先進校の取組事例発表
  - ・小教研情報教育部会理事会との次年度の研究主題についての協議
  
- 3月
  - ・市町村教育委員会担当者との連絡会による連携の強化  
内容：環境整備・活用推進に向けた協議